

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（2014年1月）の予測

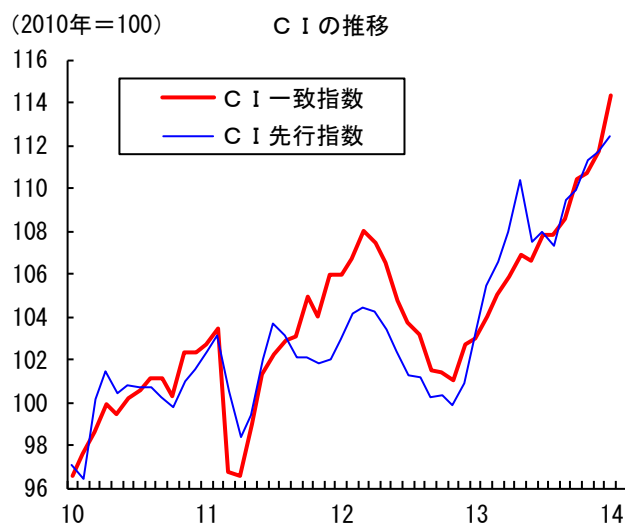
発表日：2014年2月28日（金）

～一致指数、先行指数とも5ヶ月連続の上昇を予想～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

内閣府から3月7日に公表される2014年1月の景気動向指数では、C I一致指数は前月差+2.6ポイントと、5ヶ月連続で上昇すると予想する¹。上昇幅は大きく、C I一致指数の着実な改善が続いていることが示されるだろう。消費税率引き上げを前にした駆け込み需要の顕在化が1月のC I上昇を牽引し、耐久消費財出荷指数、鉱工業生産指数などが押し上げ要因になる見込みだ。また、設備投資の増加により投資財出荷指数(除輸送機械)なども押し上げに寄与するだろう。なお、内閣府によるC I一致指数の基調判断は「改善」で据え置かれるだろう（「改善」判断は7ヶ月連続）。

C I先行指数は前月差+0.7ポイントと、5ヶ月連続の上昇が予想される。住宅着工床面積や消費者態度指数、長短金利差などがマイナスに寄与する一方、最終需要財在庫率指数や生産財在庫率指数の改善などがプラス寄与になる見込み。消費増税後の需要減を睨んで企業が在庫率を低水準を維持していることは、先行きの在庫調整リスク軽減につながる。輸出や個人消費等の需要動向次第ではあるが、消費増税後も基調としては景気は回復基調を維持できる可能性が高いと思われる。C I一致指数も、一時的な落ち込みはあるにせよ、均してみれば上昇トレンドで推移するだろう。



(出所)内閣府「景気動向指数」

(注)直近の2014年1月は第一生命経済研究所による予測値

¹ 現時点で未公表の所定外労働時間指数、中小企業出荷指数については仮置きを行って試算した。